



移住者名	五十嵐 ちひろ
都道府県	三重県 答志島
移住先	埼玉県⇒三重県
移住年	2017年
職業	工芸品店販売員⇒地域おこし協力隊
家族構成	独身
移住形態	1ターン

Q. 移住したきっかけは？

田舎暮らしに興味があり、住むなら海の近くで雪が降らないところと考えていました。ほとんどインスピレーションで紀伊半島に絞り、まずは地域おこし協力隊として移住するのが自分に合っていると思ったので、募集している地域を探しました。そんな中で参加した地域おこし協力隊の募集説明会で答志島の存在を知りました。

一度下見に来てみたら、食べ物が美味しく、景色が良く、素敵な人たちに出会えたので、ここに来ようと思いました。ちょうどお祭りの前日で、その独特の雰囲気にも惹かれました。答志島を知ったのが2016年6月、下見に来たのが2017年2月、実際に移住したのが2017年4月なので、かなりスピード感のある移住だったのではないのでしょうか。

漠然と海のあるところと考えていたため、離島は元々の選択肢に無かったのですが、結果的に住むことになった感じです。

Q. 移住の際不安に思ったことは？

正直不安らしい不安はありませんでした。イタリアへ留学していたことがあるので、日本国内なら多少不便でもどこでも住めるだろう、と思っていました。しいてあげるなら家族や友人と離れることに対して、わずかに不安はありました。

学生時代と留学中に一人暮らしをしていましたが、当時家族と離れていることに大きなストレスを感じていたため、また同じようになるのではないかと不安はありました。実際は当時のような状態にはならず、ひそかに自分の成長を感じています。

また、友人と頻りに会えなくなるのは残念に思いましたが、離れていて縁が切れるような人もいないし、そんなに自分に会いたきゃ会いに来るだろう、と考えています。実際夏休みを利用して会いに来てくれた友人も何人かいますし。

Q. 移住して良かったことは？

普段の生活にしても、仕事をするにしても、人と人の確かなつながりを感じたかったので、それが叶いました。都会にいと人間関係が希薄で、それが楽な部分はありませんでしたが、面倒でも毎日近所の人に挨拶したりとか、仕事の取引している相手にも家族や私生活がある、っていうのを意識したりとか、そういうものを求めていたわたしにはぴったりな場所だと思います。周りに住んでいる人たちもみんないい人ばかりで、かわいがってもらっています。

海のそばに住みたい、という念願かなって、家を出て数十秒歩けば港に着きます。下見のときに一番すてきだと思った海岸も近所なので、暇を見つけては海を眺めに行きますが、いつ行っても感動するし、飽きません。



Q. 移住を考えている方へメッセージ

自分の性格上行き当たりばったりでもなんとか生きていけるタイプなので、あまり偉そうにアドバイスは言えません。移住してまだ半年程度ですから、ここでの生活は未だに非日常を生活しているような感じです。そんな中でも徐々に溶け込んでいく感じがして、それが面白いです。

本土とつながっていない島は、物理的にも文化的にも隔絶されていて、それが島を魅力的にしていると思います。魅力的だと思える場所に住めるというのは、すごく幸せなことです。どこかの島でも、山の中でも、外国でも、強く魅力を感じ、自分に合っていると思える場所に出会えるといいですね。